

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●コスタノヴァがフェブラリーS連覇を達成

2月22日(日)に行われたフェブラリーS(G I)では、昨年に続いてコスタノヴァ(牡6歳/美浦・木村哲也厩舎)が優勝しました。同レース連覇はコパノリッキー(2014年・2015年)、カフェファラオ(2021年・2022年)に続き、史上3頭目のこととなります。

●北村友一騎手がJRA通算1000勝を達成

2月21日(土)の1回阪神1日・第7レースではザックザクが1着となり、同馬に騎乗した北村友一騎手(栗東・フリー)は、史上44人目・現役21人目となるJRA通算1000勝(1万1380戦目)を達成しました。

●荻野極騎手がJRA通算300勝を達成

2月22日(日)の1回東京8日・第4レースではマイネルグレートが1着となり、同馬に騎乗した荻野極騎手(栗東・フリー)は、現役48人目となるJRA通算300勝(4750戦目)を達成しました。

●古川吉洋騎手がJRA通算600勝を達成

2月22日(日)の1回小倉10日・第11レースとして行われた小倉大賞典(G III)ではタガノデュードが1着となり、同馬に騎乗した古川吉洋騎手(栗東・フリー)は、史上88人目・現役34人目となるJRA通算600勝(1万1757戦目)を達成しました。

●幸英明騎手がJRA通算2万5000回騎乗を達成

2月22日(日)の1回阪神2日・第5レースでスリーロンドンに騎乗した幸英明騎手(栗東・フリー)は、この騎乗で武豊騎手に続いて史上2人目・現役2人目となるJRA通算2万5000回騎乗を達成しました。デビューから31年11か月18日・50歳1か月11日での記録達成で、これは武豊騎手の38年0か月22日・56歳0か月8日を更新するJRA史上最速・最年少記録となります。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ダノンフィーゴがかきつばた記念(名古屋)で重賞初制覇

かきつばた記念(Jpn III、2月23日、名古屋、1,500万円)は、5番手追走から直線に入って間もなく抜け出した1番人気のダノンフィーゴ(川田将雅騎手、牡4歳、父イントゥミスチーフ)が3馬身差の楽勝を収めました。2番人気のウェイワードアクトが2着、マテロウコマンドは3着、大逃げを打った3番人気のジャスパールロストは4着、60万円を背負ったシャマルは7着でした。

●たんぼ賞(佐賀)は地元佐賀の熊本産馬アッシュアール

九州産3歳馬限定戦のたんぼ賞(2月25日、佐賀、1,400万円、JRA所属馬は1勝クラス)は、最後方から追いつけた5番人気の地元佐賀所属馬アッシュアール(青海大樹騎手、牡、父コパノチャーリー)がゴール寸前で差し切り勝ち。単勝1.4倍の圧倒的支持を集めたJRAのカラクニダケは5着に敗れています。

●兵庫ユースC(姫路)はベラジオソニック【各地の主要3歳重賞】

兵庫ユースC(2月19日、姫路、1,400万円)は、6番手から差を詰めた2番人気の北海道から兵庫への移籍馬ベラジオソニック(牡、父ロゴタイプ)が、1番人気の高知からの遠征馬トサノシュジンコウとの競り合いをクビ差で制しました。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ブルーダイヤモンドS～ストライサンドが制す

オーストラリア・Victoria州を代表する2歳戦であるG1ブルーダイヤモンドS(2歳、芝1,200万円)が、現地2月21日にコフィールド競馬場で行われ、B.メルハム騎手を背に3番手で流れに乗ったストライサンド(牝2歳、父マグナス、C.マクドナルド厩舎)が優勝しました。ストライサンドは昨年10月にリステッドでデビューして2着のあと、2戦目のリステッドも2着。今年1月のG3ブルーダイヤモンドプレビュー(牝馬)も5着でしたが、続く前走2月7日のG2ブルーダイヤモンドプレリウド(牝馬)(芝1,100万円)を2番手からの競馬で制して初勝利を挙げていました。

●G1クイーンズシルバージュビリーC～カーインライジングが香港新記録達成

2月22日に香港のシャティン競馬場で行われたG1クイーンズシルバージュビリーC(3歳上、芝1,400万円)はZ.パートン騎手が手綱を取ったカーインライジング(騾5歳、父シャムエクスプレス、D.ヘイズ厩舎)が2番手追走から直線で楽に抜け出すと、2着のヘリオスエクスプレスに3馬身半差をつけて優勝(勝ちタイムの1分19秒36はコースレコード)。2024年2月から続く連勝を18に伸ばして、サイレントウィットネスが2002年から2005年にかけてマークした香港調教馬による連勝記録を塗り替えました。カーインライジングはこのレース連覇で、G1は8勝目。通算成績は21戦19勝、2着2回です。